

604HW

お願いとご注意

<p>このたびは、「604HW」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。</p> <ul style="list-style-type: none">604HWをご利用の前に、「クイックスタート」、「お願いとご注意（本書）」および「ユーザーガイド」をご覧になり、正しくお取り扱いください。 ユーザーガイドは、ソフトバンクホームページ（http://u.softbank.jp/2c07TUvs）からご確認ください。 本機は法人専用機種であり、管理者による機能制御が可能です。機能制御の内容によっては、本紙記載の設定や操作が行えない場合があります。 <p>604HWは、4G／LTE／3G方式に対応しております。SoftBank 4Gは、第3.5世代移動通信システム以上の技術に対しても4Gの呼称を認めるという国際電気通信連合（ITU）の声明に基づきサービス名称として使用しています。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none">本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されています。 本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、お問い合わせ先までご連絡ください。

マナーとルールを守り安全に使用しましょう

安全のために

こんな使いかたはやめましょう。

- ハンダ付けなどのお客様による修理をしないでください。

マナーを守ろう！

安全のために使用が禁止されています。

- 電車やバスなどの優先席近くでは使用しないでください。ベースメーカなど生命にかかわる機器に影響をおよぼすことがあります。
- ゴルフ場など野外で雷鳴が聞こえたときは、落雷の恐れがありますので、使用しないでください。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

表示の説明

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} 」を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} 」を負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^{*2} を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^{*3} の発生が想定される」内容です。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指します。

絵表示の説明

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。		水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。		

本機、USIMカード、USB延長ケーブル(HWDCQ1)の取り扱いについて(共通)

	高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
	電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高压容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
	砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
	分解、改造をしないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
	水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
	端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
	オプション品は、ソフトバンクが指定したものを使用してください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
	落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
	端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
	使用中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災、やけどなどの原因となります。
	ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は本機を使用しないでください。引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。
	使用中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。 <ul style="list-style-type: none">本機を接続したパソコンの電源を切る。上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

注意

	破損したまま使用しないでください。火災、やけど、けがなどの原因となります。		乳幼児の手の届く場所に置かないでください。誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。
	ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。落下して、けがなどの原因となります。		本機を長時間連続使用される場合はご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようにご注意ください。長時間の使用中は本機の温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。
	湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。		
	子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。けがなどの原因となります。		

本機の取り扱いについて

危険

	火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。		釘（鋭利なもの）を刺したり、ハンマー（硬いもの）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
--	--	--	--

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。電話番号はお間違いのないようおかけください。

■ソフトバンクカスタマーサポート			
<table> <tbody><tr> <td>総合案内</td></tr> <tr> <td>ソフトバンク携帯電話から 157（無料）</td></tr> <tr> <td>一般電話から ☎0800-919-0157（無料）</td></tr> </tbody></table>	総合案内	ソフトバンク携帯電話から 157（無料）	一般電話から ☎0800-919-0157（無料）
総合案内			
ソフトバンク携帯電話から 157（無料）			
一般電話から ☎0800-919-0157（無料）			
<table> <tbody><tr> <td>紛失・故障受付</td></tr> <tr> <td>ソフトバンク携帯電話から 113（無料）</td></tr> <tr> <td>一般電話から ☎0800-919-0113（無料）</td></tr> </tbody></table>	紛失・故障受付	ソフトバンク携帯電話から 113（無料）	一般電話から ☎0800-919-0113（無料）
紛失・故障受付			
ソフトバンク携帯電話から 113（無料）			
一般電話から ☎0800-919-0113（無料）			

IP電話などでフリーコールが繋がらない場合は、恐れ入りますが下記の番号へおかけください。

東日本地域	022-380-4380（有料）
関西地域	06-7669-0180（有料）
中国・四国・九州・沖縄地域	092-687-0010（有料）

	警告
	本機内のUSIMカード挿入口に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。また、USIMカードの挿入場所や向きを間違えないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
	航空機へのご搭乗にあたり、本機を接続しているパソコンの電源を切るか、本製品をパソコンから取り外してください。航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。
	病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、本機を接続しているパソコンの電源を切るか、本製品をパソコンから取り外してください。電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

	注意
	カバーを取り外す際は、必要以上に力を入れないでください。カバーが破損し、けがなどの原因となります。
	カバーを取り付けるときは、指を挟まないでください。けがなどの原因となります。
	カバーを外したまま使用しないでください。やけど、けが、感電などの原因となります。

	注意
	自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。
	本機の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります。各箇所の材質について → 本書裏面「材質一覧」

USIMカードの取り扱いについて

	注意
	USIMカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。けがなどの原因となります。

USB延長ケーブル（HWDCQ1）の取り扱いについて

	警告
	USB延長ケーブルのコードが傷んだら使用しないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。
	USB延長ケーブルは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。
	雷が鳴り出したら、USB延長ケーブルには触れないでください。感電などの原因となります。
	本機につないだ状態で端子をショートさせないでください。また、端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。
	USB延長ケーブルのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。
	本機にUSB延長ケーブルを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。
	本機にUSB延長ケーブルを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
	濡れた手でUSB延長ケーブルや端子に触れないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。
	USBプラグについたほこりは、拭き取ってください。ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

注意

	本機につないだ状態でUSB延長ケーブルに長時間触れないでください。やけどなどの原因となります。
--	---

医用電気機器近くでの取り扱いについて

	警告
	植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本機を15cm以上離して携行および使用してください。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
	自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
	身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づく恐れがある場合には、事前に本機を電波の出ない状態に切り替えてください。付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
	医療機関内における本機の使用については、各医療機関の指示に従ってください。医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

■データ通信サポート窓口

セットアップ、操作方法等についてのお問い合わせはこちら
受付時間 平日 9：00～19：00
土日祝 9：00～17：00
ソフトバンク携帯電話から * 5525（無料）
一般電話から 0088-21-525（無料）
※海外からはご利用になれませんのでご了承ください。

■ソフトバンク国際コールセンター

海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失については、下記の番号へおかけください。
+81-92-687-0025
（有料、ソフトバンク携帯電話からは無料）

材質一覧

	使用箇所	使用材料・表面処理
本体	外装ケース(表面)	PC塗装
	外装ケース(側面)	PC塗装
	USBフロントカバー	PC塗装
	USBトップカバー	PC塗装
	USBボトムカバー	PC塗装
	LEDランプ	PC
	USIMカードスロット(樹脂部)	LCP
	USIMカードスロット(金属部)	リン銅/金メッキ/ニッケルメッキ
	USBプラグ(樹脂部)	PC
	USBプラグ(金属部)	ステンレススチール/黄銅/半金錫/ニッケルメッキ
	ラベル	PET
	銘版	PET
	水濡れシート	PP+水溶紙
USB延長ケーブル	外装ケース	PE+TPE
	USBプラグ(樹脂部)	PBT
	USBプラグ(金属部)	ブリキ/黄銅/金メッキ/ニッケルメッキ
	USBコネクタ(樹脂部)	PBT
	USBコネクタ(金属部)	ブリキ/リン銅/金メッキ/ニッケルメッキ

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 本機にはあらかじめ定額プランに対応した接続先が設定されています（初期出荷状態）。該当の接続先は当社ネットワークにて帯域の制御を行います。
- 本機はソフトウェアアップデートに対応しております。ソフトウェアは最新の状態でご利用ください。
- 本機は電波を利用しているので、サービスエリア内であっても屋内、地下、トンネル内、自動車内などでは電波が届かにくくなり、通信が困難になることがあります。また、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を公共の場所でご使用になるときは、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。また劇場や乗り物などによっては、ご使用できない場所がありますのでご注意ください。
- 本機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただく場合があります。あらかじめご了承ください。
- 以下の場合、登録された情報内容が変化・消失することがあります。情報内容の変化・消失については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。情報内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。
 - 誤った使いかたをしたとき
 - 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
 - 動作中に電源を切ったとき
 - 故障したり、修理に出したとき
- 回線の混雑状況や通信環境などにより、通信速度が低下、または通信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 爆発物を取り扱う場所、その近辺では本機を使用しないでください。爆発を誘発する恐れがあります。また、爆破装置などに影響を与える場合があります。
- 本機で利用する USIM カードは、当社が指定する機種以外ではご利用になれません。
- 長時間連続でご使用された場合、本機が熱くなることがあります。
- 長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。取り扱いにはご注意ください。

お取り扱いについて

- 雨や雪の日、および湿気が多い場所でご使用になる場合、水に濡らさないよう十分ご注意ください。本機は防水仕様ではありません。
- 本機を極端な高温または低温、多湿の環境、直射日光のあたる場所、ほこりの多い場所でご使用にならないでください。
- 本機を落としたり衝撃を与えたりしないでください。
- 本機をお手入れの際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。

知的財産権について

- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社 の登録商標または商標です。
- HUAWEI は、中国 HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD. の商標または登録商標です。
- Microsoft[®]、Windows[®]、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における商標または登録商標です。Windows は Microsoft Windows operating system の略称として表記しています。
- TM and © 2017 Apple Inc. All rights reserved.
- Apple、Apple のロゴ、Mac、Macintosh、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Google、Google Chrome は、Google Inc. の商標または登録商標です。
- Firefox は、米国 Mozilla Foundation の米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- Opera は Opera Software ASA の商標または登録商標です。Opera に関する詳細については、http://www.opera.com/ja/ をご覧ください。
- その他、本書に記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

PIN コード設定

PIN(Personal Identification Number) は、不正ユーザーが USIM カードを利用することを防ぐために使われるコードです。ご購入上げ時の USIM カードは、PIN コード認証なし、PIN コードは「9999」に設定されています。PIN コードの設定/変更方法については、ユーザーガイドを参照してください。

本機の比吸収率（SAR）について

この製品【604HW】は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および国際ガイドラインに適合しています。この製品は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^{*1}ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、この通信端末に対する SAR の許容値は 2.0 W/kg です。この製品を次に記述する所定の使用法^{*3}で使用した場合の SAR の最大値は 0.794 W/kg^{*2}です。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

この製品を人体の近くでご使用になる場合^{*3}

この製品を人体の近くでご使用になる場合、身体から 1.5センチ以上離してご使用ください。このことにより、この製品は国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合します。世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで 20 年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。
※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第 14 条の 2）に規定されています。
※2 <携帯電話サービス>と同時に使用可能な無線機能を含みます。

SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/e/e/index.htm

一般社団法人電波産業会のホームページ

http://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html

電波ばく露の影響に関する情報として、**欧州における基準および米国連邦通信委員会（FCC）の基準**を掲載しています。詳細は「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。

欧州における電波ばく露の影響に関する情報

この製品【604HW】は無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。この製品から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯機器における SAR の許容値は 2W/kg で、アクセサリ等により人体より 0.5 センチ以上離して、その間に金属（部分）が含まれないようにして使用する場合の SAR の最高値は 1.36 W/kg です。

米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。FCC で定められている SAR の許容値は、1.6 W/kg となっています。測定試験は機種ごとに FCC が定めた位置で実施され、下記のとおりに従って**人体の近くでご使用になる**場合は 1.17 W/kg です。

人体の近くでご使用になる場合:

この製品【604HW】では、一般的な携帯電話の装着法として身体から 0.5 センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCC の電波ばく露要件を満たすためには、身体から 0.5 センチの距離に携帯電話を固定できる装身具を使用し、ベルトクリップやホルスターなどには金属部品の含まれていないものを選んでください。上記の条件に該当しない装身具は、FCC の電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。比吸収率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい場合は下記のホームページを参照してください。

FCC Radio Frequency Safety（英文のみ）

https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0

世界保健機関は、携帯機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

世界保健機関（英文のみ）

http://www.who.int/emf

SoftBank 各機種の電波比吸収率（SAR） 一覧はこちら

http://www.softbank.jp/mobile/support/sar/

Specific Absorption Rate (SAR) Information for this Product (for Japan)

This product【604HW】meets Japanese technical regulations* and international guidelines for exposure to radio waves. The Japanese technical regulations for exposure to radio frequency energy established permitted levels of radio frequency energy, based on standards developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The regulations employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit is 2 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue.

The limit includes a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The value of the limit is equal to the value given in international guidelines recommended by ICNIRP**, which is in collaboration with the World Health Organization (WHO).

The highest SAR value for this product is 0.794 W/kg*** when used close to the body in the below manner**** .

While there may be differences between the SAR levels of various products and at various positions, all products meet the Japanese technical regulations.

Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR of the product during operation can be well below the maximum value.

Use close to the body****

To use this product close to the body, maintain a separation of 1.5 cm with no metal (parts) between it and the body. This will ensure this product meets the Japanese technical regulations for exposure and international guidelines for radio wave protection.

* The technical regulations are provided in Article 14-2 of the Ministry Ordinance Regulating Radio Equipment.

** International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection

*** The value is under simultaneous transmission use conditions.

The World Health Organization has announced that “A large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use.”

For more information about SAR, see the following websites:

- **Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC)**

http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/e/e/body/index.htm

- **Association of Radio Industries and Businesses (ARIB)**

http://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html (Japanese)

This product【604HW】is confirmed to comply with guidelines relating to effects of radio wave exposure as set forth by the Council of Europe (CE) and the Federal Communications Commission (FCC). Refer to the following.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health. The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2.0 W/kg. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body. In this case, the highest tested SAR value is 1.36 W/kg* at the separation distance of 0.5 cm from the body. For electronic safety, maintain the separation distance with accessories containing no metal, that position handset a minimum of the above distance. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

* The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organization through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g. worn on the body) as required by the FCC for each model.

The highest SAR value for this model handset as reported to the FCC when tested for use worn on the body in a holder or carry case, is 1.17 W/kg.

Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 0.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 0.5 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/ after searching on FCC ID Q15604HW.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on FCC Radio Frequency Safety website at http://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

- **World Health Organization**

http://www.who.int/emf

- **List of Specific Absorption Rates (SAR) for radio waves by smartphone/3G model**

http://www.softbank.jp/mobile/support/sar/ (Japanese)

保証とアフターサービス

保証について

本機をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いております。

- ご購入上げ店名、ご購入上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。
- 修理を依頼される場合、お問い合わせ先または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。その際できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。
- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

アフターサービスについて

- 本機の故障、誤動作または不具合などにより、通信などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録/設定した内容が消失/変化する場合があります。なお、故障または修理の際に本機に登録されているデータや設定した内容が消失/変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機を分解/改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合および外装ケース内のネジを覆っているシールをはがされた場合は、修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。
- アフターサービスについてご不明な点は、最寄りのソフトバンクショップまたはお問い合わせ先までご連絡ください。



発売元 **ソフトバンク株式会社**

製造元 **HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.**

2017年5月 第1版